□□ CMS News Letter □□□□□□□□□□□□□Core Micro Systems □□□

エンタープライズストレージ環境のハイブリッドクラウド化と
広域マルチサイトDRを実現する「TwinStrata CloudArray」を本日より発売開始

～「CloudArray」を搭載したハードウェアアプライアンス4製品も同時発表～

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ Vol.018 2011/11/07 □□

いつもお世話になっております。
コアマイクロシステムズの吉政でございます。

近年、企業（エンタープライズ）のITインフラのクラウド化が急速に進む中で、プライベートクラウドとパブリッククラウドの両方を効率よく使い分けるハイブリッドクラウドが注目されています。企業においては、セキュリティとコストという重要な2つの側面を効率よく、かつ合理的に使いこなさなければなりません。

また同時に、東日本大震災後に一気に高まった災害対策（DR）についても自社環境内でのDRだけではリスク回避できない事に気付きつつあります。　そこで市場では、高効率で低価格なマルチサイトDRを実現できるハイブリッド・クラウドストレージソリューションが求められています。

弊社は従来からデータセンタ向けの大容量／高可用性スケーラブルストレージ及び、エンタープライズ向け高速／高信頼なストレージの販売実績を評価され、今回の米国TwinStrata社との提携に至りました。

本提携による新しいクラウドストレージ4製品に是非ご注目ください。
詳細は以下のページをご覧ください。

http://www.cmsinc.co.jp/news/2011/news20111107.html

□□ INDEX　□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

[News & Topics]

◇11月07日発表

エンタープライズストレージ環境のハイブリッドクラウド化と
広域マルチサイトDRを実現する「TwinStrata CloudArray」を本日より発売開始

～「CloudArray」を搭載したハードウェアアプライアンス4製品も同時発表～

[ストレージ・マーケティングコラム]

第六回：『クラウドストレージ』について

□□□

◆◆>[News & Topics　]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

[News & Topics]

◇11月07日発表

エンタープライズストレージ環境のハイブリッドクラウド化と
広域マルチサイトDRを実現する「TwinStrata CloudArray」を本日より発売開始

～「CloudArray」を搭載したハードウェアアプライアンス4製品も同時発表～

原文：http://www.cmsinc.co.jp/news/2011/news20111107.html
解説：
クラウド用のストレージにはコストパフォーマンスと高性能さが必要なのはもちろん、最近ではDR機能が必須になってきました。DR機能の必要性については以下のコラムをご覧ください。（吉政忠志）

◆◆>[ストレージ・マーケティングコラム]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第六回：『クラウドストレージ』について

◇◇◇

最近、調査会社が「クラウドストレージ」という言葉を使い始めました。ストレージ業界ではクラウド用のストレージという意味になりますが、一般的にはそうでないようです。一般的には「オンラインストレージ」と同義になります。

「オンラインストレージ」は「宅ファイル便」や「Dropbox」、「GIGAPOD」など、ネットワーク上に存在するストレージでファイル共有には非常に便利なサービスです。

ちなみに「クラウドストレージ」と「オンラインストレージ」の言葉の意味は全く同じで、違いがないそうです。よって、メディアでは、「クラウドストレージ（オンラインストレージ）」という表現を使うメディアもあるくらいです。

同じ意味なら新しい言葉を使わなければ良いのにと個人的には思いますが、話を進めて行きます。

国内外でクラウドサービスが経ち上がる一方、事故も起こっています。最近では「Doropbox」の事故、そして少し前ではGoogle Docsも事故を起こしています。

※2011年6月21日発表：Dropbox セキュリティ障害
パスワードなしで全ユーザのBOXにログインできる状態が4時間続いたそうです。
原文：http://japan.cnet.com/news/service/35004312/

※2009年3月10日発表：Google Docsのセキュリティ障害
米インターネット検索大手グーグル（Google）は7日、オンラインでドキュメントを作成・利用できるサービス「Google Docs」で、非公開のドキュメントが共有されてしまうという不具合の発生を確認したと発表しました。不具合は、7日までに修正されたそうです。影響を受けたのはユーザーの0.05%とされます。（ Google Docsのユーザ数は2007年時点で160万人）ユーザーが複数のドキュメントを選択し、共有許可の設定を変更した場合、意図しない相手にもドキュメントの共有が許可されてしまうそうです。

このような事故を避けるべく、米国政府機関や経済産業省ではクラウドセキュリティガイドラインを出しています。

◆経済産業省　クラウドセキュリティガイドライン
http://www.meti.go.jp/press/2011/04/20110401001/20110401001.html

◆CSA　クラウドセキュリティガイドライン
クラウドにまつわる全てに関するガイドライン
http://www.cloudsecurityalliance.org/guidance/

◆NIST　クラウドセキュリティガイドライン
システム面を中心にしたガイドライン
http://csrc.nist.gov/publications/drafts/800-144/Draft-SP-800-144_cloud-computing.pdf
http://csrc.nist.gov/publications/drafts/800-146/Draft-NIST-SP800-146.pdf

上記については利用者個人情報の保護に関することと、BCP対策について触れられています。

クラウド用ストレージを選択する際に、上記のガイドラインに適用できるストレージをぜひ選んで頂きたいです。

（マーケティング・アドバイザー　吉政忠志）

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
※　CMS News Letterについては下記にバックナンバーをアップしています。
　　http://www.cmsinc.co.jp/mm/mailmagazine/index.html

編集後記

最近、クラウドサービスプロバイダーの間にもBCP対策用に二次サイトへのバックアップ&リカバリの意識が高まってきています。このように話すと驚く方もいらっしゃると思いますが、クラウドが設置されているDCは不沈戦艦のような印象をベンダー側はもっているようで、このサイトは堅牢だから二次サイトなんて必要ないという人も多いです。しかし、想定外の震災以降、お客様の要望が高く二次サイトへのDRが進み始めたという感じです。どこまで想定すればよいのかという議論もありますが、最低限ロケーションのDR対応はほしいところです。（吉政）

コアマイクロシステムズでは、お客様事例を募集しております。事例公開にご協力いただきましたお客様の社名やお取り組みを弊社のホームページや販促資料に記載し、皆様のビジネスの露出度向上に些少でも貢献出来ればと思います。
お気軽に弊社担当までお申し付けください。
―◇本メールマガジンの登録解除方法◇―
このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法
このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：
（１）メールアドレス：
（２）氏名　　　　　：
（３）会社名　　　　：
（４）部署名　　　　：
（５）役職名　　　　：

発行人：コアマイクロシステムズ株式会社　吉政　忠志

――――――――― (C) Core Micro Systems Inc., All Rights Reserved ―